

つなぐ

令和3年度
函南小学校
学校支援会議便り
No.1 4月号
文責 渡邊

令和3年4月21日に令和3年度第1回「函南小学校支援会議」を函南小学校図書室にて開催しました。函南町小・中学校では、令和2年度より全校で「学校運営協議会」を設置し、本校でも「函南小学校支援会議」として、地域の方々の声を学校運営に取り入れながら、「地域とともにある学校」づくりを進めました。

今年度の委員の皆様方は、昨年度の委員の皆様方に引き続きお願いしました。

- ①岩田 徹也さん(前PTA会長、前消防団分団長)
- ②田口 俊雄さん(前仁田区長)
- ③加藤 ひとみさん(元小学校教頭、元民生委員)
- ④辻 真人さん(元PTA会長、函南小おやじの会代表)
- ⑤稲葉 優子さん(主任児童委員、読み聞かせボランティア、函南小クラブ講師)
- ⑥久保田 敦さん(PTA会長)
- ⑦露木 千春さん(前PTA副会長)
- ⑧鈴木 薫さん(地域学校協働活動推進委員)
- ⑨渡邊 衛(校長)
- ⑩奥藤 颯(教頭)
- ⑪長澤 誠(教務主任)※新規



【支援会議の様子】

会長は、岩田さん。副会長は、渡邊(校長)が担当します。

始めに、委員の皆様方には、5校時の授業を参観していただきました。その後、会場を図書室とし「函南小学校支援会議」を開催しました。会議では、岩田会長と校長の挨拶の後、函南町教育委員会学校教育課の石井指導主事より、函南町のコミュニティスクールの取組と本校の「学校支援会議」についての話を伺いました。その中で、昨年度実施した第5学年の「防災キャンプ」とおやじの会の「ランプシェードプロジェクト」の実践が、コロナ禍において、地域と協働で実践できたことに高い評価をいただきました。

続いて、校長より今年度の学校運営方針について説明しました。学校教育目標と重点目標、学校経営目標について資料をもとに話し、参加した委員の皆様方全員の「承認」を得ることができました。

函南町が推進する函南スタンダード(小学校編)では、次の5つの視点からの成長を目指しています。

- ①進んであいさつをする
- ②決まりや時間を守る
- ③人の話を集中してきく
- ④運動やスポーツ、外遊びにはげむ
- ⑤読書に親しむ

◆R3函南小で重点的に取り組む

◆R3函南小で重点的に取り組む

函南小学校では、上記の①「進んであいさつをする」と⑤「読書に親しむ」に重点的に取り組んでいきたいと考えます。①については、本校の児童会が今年度中心として取り組むテーマを「進んであいさつすることで笑顔明るい元気な学校」と設定し、挨拶を進んで行う取組を計画しています。PTAの校外生活部の皆さんは、交通安全街頭指導に取り組みながら挨拶運動も行ってくれています。仁田区の皆様方も「安全安心で住みやすい仁田地区を目指して」ということで定期的に街頭指導を行ってくれています。このように、児童、職員、保護者、地域の皆さんが連携して取り組んでいくことはとても大切なことであると思います。⑤については、子供たちに読書の楽しさを伝えられればよいと思います。この気持ちが芽生えれば自分からどんどん読書活動を行うことが期待されると考えるから

です。そこで、これについても学校では、昨年度の取組を継続して毎週木曜日を「読書の日」として家庭の協力の下、読書活動を推進していくとともに、月曜日と金曜日の朝8時10分から25分までの15分間を読書の時間と今年度は新たに位置付け、更なる読書活動の推進に努めることにしました。また、児童会の図書委員会では、読書の楽しさを全校児童に伝える計画を立て、自分たちができることを考えています。保護者や地域の皆さんには、「図書ボランティア」や「読み聞かせボランティア」等でお手伝いいただきたいと思いません。「読書に親しむ」の推進についても、それぞれが連携し取り組んでいきますので応援をよろしくお願いします。

以下に、委員の皆様方から出された意見を紹介いたします。

- ◆安全安心で住みやすい仁田地区を目指して取り組んできました。具体的な内容としては、堤防の草刈りや五反田橋、仁田橋等での朝の交通指導に取り組んでいます。気がかりなことは、仁田地区に3つあった子供会が2つになってしまったことです。地区として親や子供との交流に影響があるので、その点が気になっています。
- ◆仁田区の方々が交通安全指導をしてくださっているのは、本当にありがたいことです。そこでお願いですが、今「見守り隊」という取組を進めています。夕方にも、こういった取組に参加していただければ防犯上大きな効果があると思います。
- ◆「見守り隊」を進化させて「ながら見守り隊」という活動も始めています。散歩しながら、家の周りの草取りをしながら子供たちを見守るという活動です。函南町教育委員会生涯学習課においてステッカーを作成しています。ぜひ、協力していただければありがたいです。
- ◆今年度、PTA会長を務めます。昨年度よりも実施できる活動が増えていくと思うので、その中でできること、子供たちのためになることに取り組んでいきたいと考えます。私は消防団の活動に関わっていますが、「自分で自分の身を守る」ということを伝えていきたいと考えます。
- ◆「自分の身は自分で守る」という話がありましたが、低学年が理解し実践していくことはなかなか難しいと思います。親や教師が繰り返し教えていかなければならないと感じています。そのためにも、子供たちの指導とともに親と危機意識を共有することが大切だと思います。一昔前は、危険なことは地震程度であったけれど、それが新型コロナウイルス感染症の対応等多岐にわたってきています。たいへんな時代であるからこそ強く感じています。
- ◆「ランプシェードプロジェクト」の取組について、子供たちと感動を共有できることはとても幸せなことです。感動したり、心を揺さぶられたりすることで、子供が成長していくのだと思います。授業や読書、学校行事等の活動の中で、たくさん感動ある体験をさせて欲しいと願います。また、地域や社会がそういう存在であって欲しいとも感じています。

令和3年度第1回「函南小学校支援会議」の中で、たくさんの貴重な意見を伺うことができました。これまで「生命を大切にする教育」は本校でも重要な教育として位置付け、取り組んでまいりました。これからも学校と家庭、地域社会が連携し、推進していきたいと考えます。

最後に、今年度は、「函南小学校支援会議」の便りのタイトルを「つなぐ」としました。よりよい子供の育成を目指し、保護者や地域の皆さんと学校がどのような子供を育てていくのかを共有し、連携・協力しながら取り組んでいくことを願うのであります。

今年度も、「函南小学校支援会議」を中心に「つなぐ」を柱とし「地域とともにある学校づくり」を進めていきたいと考えます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。